

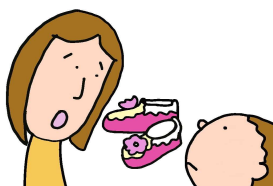
これって大丈夫？② ～「いいよ」って言ったのに～



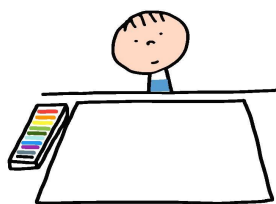
「どれでもいいよ。」

と言ったのに

「え、これ？」



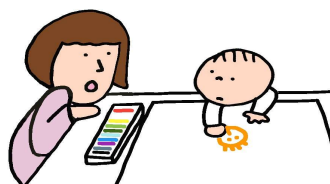
こんな風に
言ってみて！



「自由にかいてごらん。」

と言ったのに

「もっと大きくかいたら？」



こんな風に
言ってみて！



パパは「あそんでいいよ。」

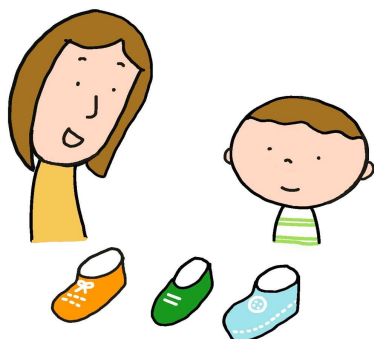
と言ったのに

ママは「片付けなさい。」



そんな時は
こうしよう！

「これと、これと、これだっ
たら、どれがいい？」



どれでもいいわけではない
ときは、大人が合意できる範囲
の選択肢を提案しましょう。

「紙いっぱい
大きく描いてみよう！」



大きく描くことを目指すなら
のびのびと表現したくなる
声掛けを、初めにしましょう。

そもそも、別々の指示は
出さないほうがいいけれど...



出してしまった場合は、
どちらかの指示を、出した人が
キャンセルしましょう。

矛盾するメッセージに板挟みになる状態をダブルバインド(二重拘束)と言います。このような状態を繰り返し経験すると、自信や意欲が低下したり、大人の顔色をうかがうようになったり、自分で考えず指示を待つようになることがあります。

こどもの自主性にまかせたくて、「どれでもいいよ。」「自由にやっごらん。」と提案したのなら、こどもの選択や行動をできるだけ受け入れ、見守るようにしましょう。

